

音楽の世界で今何が起きている??

阿部 竜之介 『Pepeの視点』

March / 14 / 2014 # 12

Trombone & Euphonium奏者の阿部竜之介(Pepe)です。

このメールマガジンでは、僕から見た今の音楽の世界で起きていること、また演奏に関するヒントなどをお届けしていきます。

またメルマガ内でもいろいろな質問に答えていこうと思っていますので、どんどん質問してきてくださいね！

INDEX

[1] 旬な話題、気になる話題

『次世代』

[2] Pepeのひとりごと

『つながり』

[3] おすすめ動画 Trombone Ensemble

『Toccat & Fugue. J.S.Bach. Spanish Brass Luur Metals』

『ITF 2012 Paris Corpus Quartet, László Dubrovay : Exorcist』

[4] 演奏のヒント！

『替え指』

[5] 編集後記

[1] 旬な話題、気になる話題

『次世代』

3月2日（日）に開催されたJETA（日本ユーフォニアム・チューバ協会）主催のコンクールを少し聴き、高校生や大学生の演奏を聴く機会を持ってました。

いやあ、みんなよく吹いていました！

あと、選んでいる（演奏している）曲が難しいものだったことに驚きました。

特に驚いたのは高校生ですねえ。

大学生になるとチャレンジの割合が減って、深く掘り下げていく勉強という感じがよく感じとられました。

こうしてレベルが確実に上がっていることを実感できることは、本当に幸せですね。

ユーフォニアムの世界では、僕は古い人間に当たると思います（吹いたことある曲や、曲の出版のヴァージョンなどから考えると）。次の世代がどんどん成長しているのを見て嬉しく思っているだけではなく、今の自分で何かできることはないのか、を常に考えながら、何かしら自分の経験したことを活かされればと考えるようになりしました。

世の中も、20年前に比べてみるとずいぶんと変わりました。いろいろあるとは思いますが、総合すると良くなったことのほうが多いと思います。

古い人間からするといろいろと羨ましいところはあるんですが（笑）、外から見ていると、仲間同士（同じ楽器や同世代という意味での）のつながり力は弱く（薄く？）なっているように感じました。まあ、日常的にコンタクトをとることが簡単になった分の反動なのでしょうね。

もっともっと積極的にお互いに交流をして「直接」の情報交換をすればいいのに、と思いました。

次の「ひとりごと」でそのつながりについて書きますが、今でしかできないつながり方は「常に」存在すると思います。

「今」を大切に、もっともっと貪欲につながりを作っていってほしいなあ、とふと思いました。

学校や学年（世代）の枠を取っ払って、もっと大きな「ひとつのチーム」になっていきたいですね！！
楽器や音楽を通して、人間同士がいつながり方ができるように、これからも微力ながら頑張っていこうと思っています。

[2] Pepeのひとりごと

『つながり』

3月のはじめに、東京へ数日行っていました。
主な目的は2つ。

1つはADAMS（アダムス）社のユーフォニアム・チューバの
展示試奏会&ミニ・コンサート。

そしてもう1つは、JETA（日本ユーフォニアム・チューバ協会）
主催のフェスティバル&コンクールをのぞきに行くこと。

アダムス・ユーフォニアム&チューバの展示試奏会&ミニ・コンサート
はたくさんの方にご来場いただき、大盛況でした。

この時に初対面だった方も、数年ぶりの再会だった方もいたのですが、
僕自身とても充実した楽しい時間を過ごすことができました！：)

翌日に開催されたJETAのフェスティバル&コンクールですが、ここ
でもたくさんの方たちとの初対面&数年ぶりの再会ができました！！

この2つのイベントを通じて、人とのつながりの大切さと温かさを
再認識することができました。

僕は、東京や大阪で勉強したわけではありませんし、フランスに
行ってもParisやLyonなどの大都市で勉強したわけではありません。
でも、機会を見つけてはいろいろなところに顔を出し勉強をして
きました。

意識してやっていたのは、自分自身の勉強に加えて自分の活動を
大都市で活動している人たちに知ってもらうことでした。

こう書くと難しいことに思うかもしれませんが、要するに、大都市で
活動している人と友達になるってことです（笑）。

幸い、すぐに友達ができる性格だったのでやりやすかったのですが
（笑）、どこに行ってもすぐに友達ができ、その友達のつながりを
大切にしてきました。

今でも、機会さえあればいろいろなところに顔を出し、勉強しながら
いろいろな人とのつながりを作っています。

おかげで、いろいろなところで活動している友達がとてもたくさん
増えました。：)

今はインターネットなどを使って彼らの活動に刺激を受けながら、
自分自身に厳しくして鍛錬しています。

先日の東京滞在ではみんなの温かさに触れることができ、改めてその
つながりの大切さを実感することができ、感謝することができました。

特に今専門的に勉強している人たちには、勉強と平行して、このような
活動もしてもらいたいと強く思います。

さらに充実した音楽家人生がきっと待っていますよ！！：D

[3] おすすめ動画

『Toccat & Fugue. J.S.Bach. Spanish Brass Luur Metals』
<http://www.youtube.com/watch?v=uXsg46g6t-s>

今回は、アンサンブルのグループを2つ紹介しますね。
まず1つ目。
スペインのグループ、『Spanish Brass Luur Metals』です。

TubaのSergioは親友で、家族ぐるみで付き合いがあり、スペインのヴァレンシアに僕が行った時には、泊まらせてもらったりしています（笑）。

演奏を聴いてもらえればわかりますが、とてもパワフルな演奏をするグループです。
ほかにも、現代の作曲家に委嘱している曲もたくさんあり、最先端をいっているグループの一つです。
ぜひ機会があれば聴いてみてくださいね！

『ITF 2012 Paris Corpus Quartet, László Dubrovay : Exorcist』
<http://www.youtube.com/watch?v=htQCOTqj87I>

2つ目の動画は、これまた友人たちのグループなのですが、ハンガリーのTrombone Quartet、Corpus Trombone Quartetです。

4人ともとってもよく吹くのですが、その人たちが4人集まるとなんでもできる！ということがよくわかると思います（笑）。

この曲、とても楽しそうなので、僕もやってみたいと思っています。
誰か、一緒にやってみませんか？？？（笑）

この映像は、2012年にフランスのParisで行われたITF(International Trombone Festival)での彼らの演奏なのですが、僕はこのコンサートを現地で聴いていました。
と〜〜〜っても盛り上がって楽しかったです（もちろん他の曲の演奏もすごかったです！）。

みなさんも、機会を見つけてどんだんいろいろなコンサートに足を運んでみてくださいね！
生の演奏から勉強できることは本当にたくさんありますからね！！

[4] 演奏のヒント！

『替え指』

今回の「演奏のヒント！」は、Trombone以外の方が対象になります。
*Tromboneの方は、どの替えポジションでもちゃんと音程や音色などをコントロールできるように練習しましょうね！

みなさん、演奏中に替え指を使うことはありますか？
人によっては「ある条件の時だけ」だったりすると思いますが、この替え指を使うかどうかの判断は人によっていろいろだと思います。

最近若い人たちを見てて感じるのですが、あまりにも簡単に替え指を使い、そしてそれに頼りすぎている状況によく遭遇します。

簡単に言うと、一般的な運指で吹くと合わない音程の音を、音程の合う替え指で演奏をするということです。

音程のことを考えるとこれでももちろんいいのですが、こうして音程の補正をしていると、音程の合わない原因が自分の奏法にある場合には、結局時間が経つとその替え指でも音程が合わなくなってきたり、楽器自体のピッチや音程がさらに狂ってきてしまいます。

そうなってしまえば、楽器の音程も悪くなってしまい、そのうち逃げられる運指（音程の合う替え指）がなくなってしまいます。

替え指を使うのはもちろんいいですよ！ :)
でも、しっかりと音程や音色をコントロールできるようになっているかも確認をしながらやっていきましょう。

楽器は生き物です。
いい音程や音で吹いていると、いつもそのような音を出してくれます。
しかし、良くない（悪い）吹き方をしていると、楽器の状態も悪くなってしまいます。

替え指を使う場合、「その運指で吹けば大丈夫！」と思い込まないように注意しながら演奏していきましょう。

あと、替え指は音程だけを考えて使うのではないと思いますよ。
同じ音でも、運指が変わると音程はもちろん、音色や音の性格が変わります。

それらのことも考えて替え指をうまく利用していきましょう！！

今、成田空港の搭乗口でこれを書いています。
昨日の夜に書き終えておきたかったのですが、全て書き終えられなくて・・・（涙）。

これから、スウェーデンへ向かいます。
1週間ほどの予定ですが、その1週間で頭と心のリフレッシュと、新たにいろいろなものを吸収してきます。

今回の移動はTromboneのみ。
しかも、ケース（いつものダブルケースです）の中にはテナーバスのみ。
今回、Alto Tromboneは家でお留守番しています。
次の再会は1週間後、Euphoniumと共にです。

今回は、Tenor Bass Tromboneと旅を楽しみます！ :)

前号の編集後記に書いていた新しいことは、次号から始めてみようかと考えています。

まだ自分の中でも決めていないのですが、この旅の中でもいろいろと考えてみます。
では、行ってきます！！

阿部 竜之介(Pepe) オフィシャルウェブサイト

<http://www.pepeabe.com>

ご意見、感想、質問などはメールでどうぞ！

info@pepeabe.com